

沖縄県の農林水産業の概要

特徴・取組

沖縄県は、東西約1,000km、南北約400kmに及び、大小約160もの島からなっている。

亜熱帯地域の温暖な気候と、広大な海に囲まれているが、他方で台風の常襲など厳しい側面もある。温暖な気候や琉球王朝の文化を活かした観光が主力産業となっている。

沖縄県の産業構造は、県内総生産の産業別割合を国内総生産と比較すると、第1次産業が同程度、第2次産業が低く、第3次産業が高いことが特徴である。

離島部においては、就業者数の約2割が第1次産業に従事しており、地域の雇用を支えている。

沖縄県内各地で、地域や島ごとの土壌や自然環境を活かした農林水産業が営まれている。

豊かな牧草資源を生かした肉用牛の繁殖経営が盛んで、肉用牛産出額は県内農業産出額の約4分の1を占める。

耕種作物では、さとうきび、にがうり（ゴーヤー）、パイナップル、マンゴーなどの品目が収穫量全国第1位となっている。特にさとうきびの生産は地域農業だけでなく地域社会を支えている。農業産出額は、ここ数年1,000億円前後で推移しており、令和2年は、910億円となった。

また、豊富な海洋資源に恵まれ、まぐろ等の回遊性魚類を対象とした漁業や、もずく類等の海面養殖業が盛んである。

農林水産物の本土への輸送コストが高いことから、県は、輸送費の一部に対して補助（農林水産物流通条件不利性解消事業）を行い、農林水産物の生産拡大や生産者所得の向上を図っている。

農林水産業の就業者は、全国と同様に高齢化が進行しているが、一方で新規就農者に占める青年層の割合は、平成23年以前に比べ高い傾向を示しており、意欲ある担い手が育成されつつある。

また、東アジア地域の中心に位置しており、本土や中国・東南アジア地域の流通拠点の強みを活かすため、那覇空港のハブ機能の強化によるアジア地域への輸出拠点化を進めている。

主な農林水産物

さとうきび

沖縄県内のほぼ全域で栽培されている基幹作物である。栽培面積・収穫量ともに全国の過半を占める。（栽培面積・収穫量全国第1位）



にがうり（ゴーヤー）

冬春期に全国に供給する主力野菜。本島南部地域を始め県内各地で生産され、収穫量は全国の約4割を占める。（収穫量全国第1位）



パイナップル

本島北部地域や八重山地域で生産される。近年、「ゴールドパレル」等、新品種のブランド化に取り組んでいる。（収穫量全国第1位）



マンゴー

近年増加している主力の果樹。宮古島市・石垣市・豊見城市を始め県内各地で生産され、収穫量は全国の過半を占める。（収穫量全国第1位）



シークワサー

沖縄県の特産果樹。本島北部を中心に生産されており、ほとんどが加工用に利用される。（収穫量全国第1位）



小ぎく（切り花類）

春期に全国に供給する主力花き。糸満市やうるま市を始め本島を中心に生産され、出荷量は全国の4割以上を占める。（出荷量全国第1位）



肉用牛

年間を通じて豊かな牧草資源を活かした繁殖経営が主体。八重山、宮古地域を中心に、県内各地で生産されている。（黒毛和牛生牛取引頭数全国第4位）



まぐろ類

沖縄県の中で最も多く漁獲されている。多くは冷凍せずに生鮮のまま水揚げされている。（漁獲量全国第8位）



もずく類（養殖）

沖縄県の養殖の中で最も多く収穫されている。全国の収穫量のほぼ全てが沖縄県産である。（収穫量全国第1位）



くるまえばい（養殖）

もずくと並び沖縄養殖業の主力製品のひとつである。収穫量は全国の3割以上を占める。（収穫量全国第1位）



沖縄県内の各地域における農林水産物

中部地域

【農産物】さとうきび、きく、小ぎく、洋ラン、切り葉、タンカン、オクラ

【水産物】もずく類（養殖）、アーサ（養殖）、ソデイカ

南部地域

【農畜産物】さとうきび、きく、小ぎく、洋ラン、にがうり（ゴーヤー）、マンゴー、パパイヤ、豚、生乳、鶏卵

【水産物】まぐろ類、もずく類（養殖）、くるまえばい（養殖）、ソデイカ

北部地域

【農畜産物】きく、小ぎく、洋ラン、切り葉、にがうり（ゴーヤー）、らっきょう、パインアップル、シークワサー、タンカン、水稻、豚、鶏卵

【林産物】木炭、えのきたけ、ぶなしめじ

【水産物】もずく類（養殖）、くるまえばい（養殖）、海ブドウ（養殖）、アーサ（養殖）、ヤイトハタ（養殖）

八重山地域

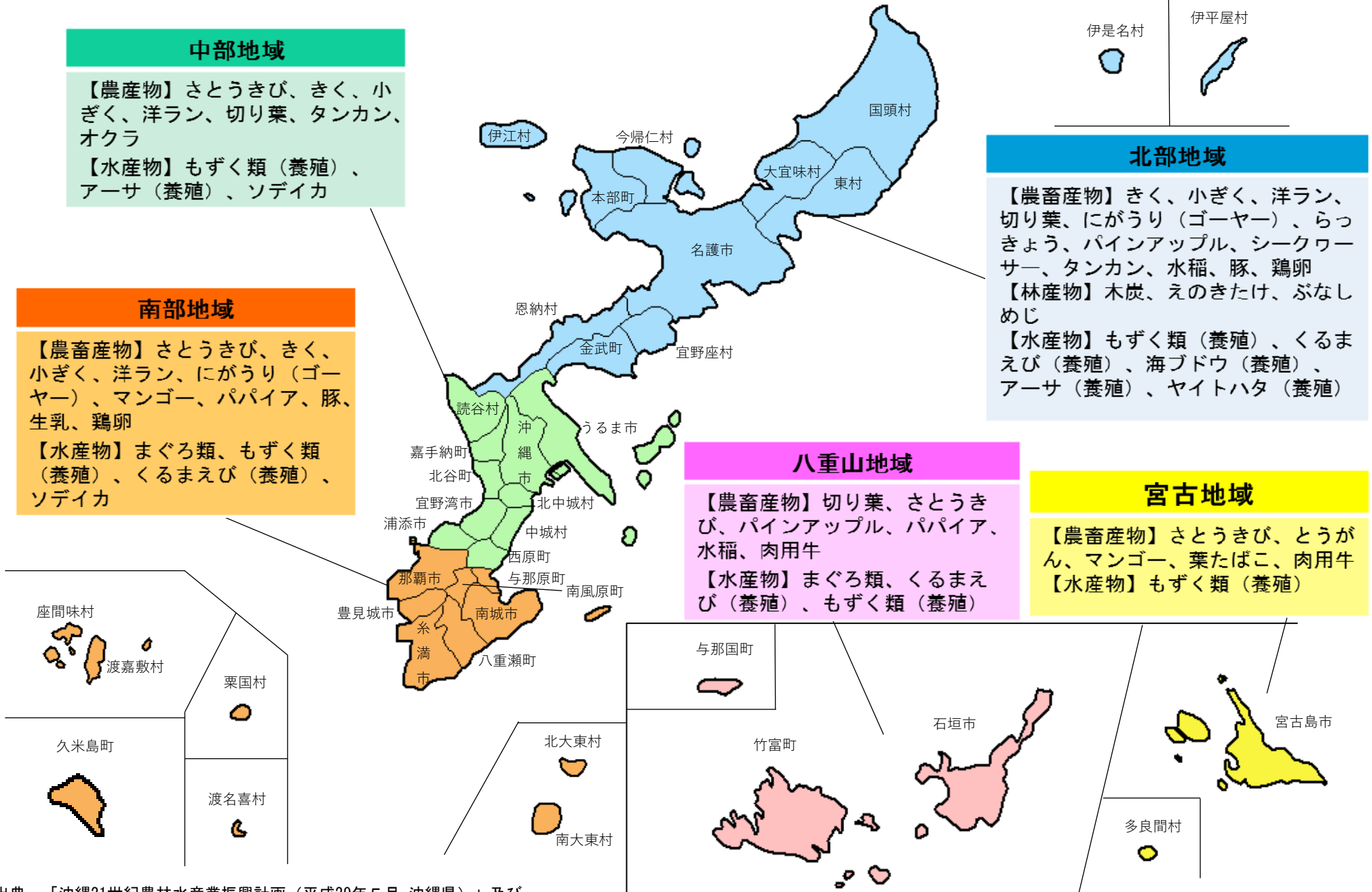
【農畜産物】切り葉、さとうきび、パインアップル、パパイヤ、水稻、肉用牛

【水産物】まぐろ類、くるまえばい（養殖）、もずく類（養殖）

宮古地域

【農畜産物】さとうきび、とうがん、マンゴー、葉たばこ、肉用牛

【水産物】もずく類（養殖）



沖縄県の農業（1）

- ・耕地面積は3万6,500haで、そのほとんどが畑。
- ・農業経営体数は1万1,310経営体で、うち法人経営の占める割合は3.7%と全国平均(2.9%)に比べて高い。
- ・認定農業者数は1,268経営体で、平成21年度の2,042経営体をピークに近年減少傾向で推移。

耕地面積

区分	沖縄県	全国	全国順位
耕地面積	36,500 ha	4,349,000 ha	35
田	800 ha	2,366,000 ha	46
畑	35,700 ha	1,983,000 ha	12
普通畑	27,900 ha	1,126,000 ha	10
樹園地	1,890 ha	263,200 ha	38
牧草地	5,920 ha	593,400 ha	5
参考) 総土地面積	228,215 ha	37,797,463 ha	44

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	沖縄県	全国	全国順位
荒廃農地面積	3,592 ha	281,831 ha	26

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区分	沖縄県	全国	全国順位
担い手への集積面積	9,153 ha	2,535,115 ha	38
集積率	24.7 %	58.0 %	41

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	沖縄県	全国	全国順位
農業経営体数	11,310 経営体	1,075,705 経営体	42
法人経営体	424 経営体	30,707 経営体	33
総農家数	14,747 戸	1,747,079 戸	46
販売農家	10,674 戸	1,027,892 戸	41
参考) 世帯総数	614,708 世帯	55,830,154 世帯	25
集落営農数	7 集落営農	14,490 集落営農	43

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	沖縄県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	13,288 人	1,363,038 人	40
男	9,511 人	822,144 人	39
女	3,777 人	540,894 人	41
65歳以上	8,035 人	948,621 人	42
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	60.5 %	69.6 %	-
認定農業者数	1,268 経営体	233,806 経営体	42
法人数	259 法人	26,080 法人	37
参考) 総人口数	1,467,480 人	126,146,099 人	25

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

沖 縄 県 の 農 業 (2)

- ・ 農業産出額は910億円で全国第34位。内訳は、肉用牛が198億円、野菜が127億円、豚が115億円。
- ・ 農畜産物の生産状況は、パインアップル、マンゴー、にがうり（ゴーヤー）、とうがん、さとうきび、ドラゴンフルーツ及びシークワサーが全国第1位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農家民宿の事業体数が全国第9位。

農業産出額

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
農業産出額	910 億円	89,557 億円	34
米	5 億円	16,551 億円	46
麦類	x 億円	521 億円	- *
雑穀	1 億円	77 億円	18
豆類	0 億円	712 億円	41
いも類	9 億円	2,391 億円	29
野菜	127 億円	22,520 億円	40
果実	60 億円	8,741 億円	35
花き	74 億円	3,080 億円	11
工芸農作物	225 億円	1,553 億円	3
その他作物	x 億円	697 億円	- *
畜産	397 億円	32,279 億円	23
肉用牛	198 億円	6,863 億円	9
乳用牛	36 億円	9,310 億円	34
生乳	35 億円	7,798 億円	33
豚	115 億円	6,596 億円	18
鶏	46 億円	8,724 億円	33
鶏卵	32 億円	4,577 億円	32
ブロイラー	14 億円	3,621 億円	31 *
その他畜産物	3 億円	787 億円	22
加工農産物	0 億円	436 億円	41

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区 分	年次	沖 縄 県	全 国	全国順位
パインアップル	収穫量	R2 7,390 t	7,390 t	1
マンゴー	収穫量	元 1,837 t	3,519 t	1
にがうり（ゴーヤー）	収穫量	H30 7,346 t	18,077 t	1 *
とうがん	収穫量	H30 2,756 t	9,202 t	1 *
さとうきび	収穫量	R2 813,900 t	1,336,000 t	1
ドラゴンフルーツ	収穫量	元 52 t	98 t	1
シークワサー	収穫量	元 2,554 t	2,555 t	1
きく	出荷量	R2 234,800 千本	1,300,000 千本	2
切り葉	出荷量	R2 18,000 千本	91,900 千本	2
タンカン	出荷量	元 579 t	3,692 t	2
パイア	収穫量	元 34 t	148 t	3
肉用牛	飼養頭数	R3 81,900 頭	2,605,000 頭	8

出典：「果樹生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「作物統計」、「地域特産野菜生産状況調査」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位	
観光農園	総額	463 百万円	35,943 百万円	23
	経営体数	20 経営体	5,290 経営体	42
農家民宿	総額	143 百万円	5,409 百万円	12 *
	事業体数	40 事業体	1,360 事業体	9 *
農家レストラン	総額	753 百万円	35,696 百万円	17 *
	事業体数	10 事業体	1,360 事業体	35 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

沖 縄 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は7.2億円で全国第44位。内訳は、栽培きのこ類生産が約96%。
- ・ 林産物の生産状況は、くろあわびたけが全国第4位。
- ・ 製材工場数は3工場。

林野面積

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
林野面積	115,602 ha	24,770,201 ha	42
国有林	31,767 ha	7,153,338 ha	26
民有林	83,835 ha	17,616,863 ha	44
人工林面積	12,089 ha	10,203,842 ha	47

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
林業経営体数	8 経営体	34,001 経営体	47
法人経営体	5 経営体	4,093 経営体	47

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
林業産出額	7.2 億円	4,286.4 億円	44
木材生産	0.2 億円	1,943.7 億円	47
栽培きのこ類生産	6.9 億円	2,259.6 億円	38

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
素材生産量	2 千m ³	19,882 千m ³	47
広葉樹	2 千m ³	1,845 千m ³	42
くろあわびたけ	生産量 6 t	115 t	4 *
粉炭	生産量 31 t	5,119 t	10 *
黒炭	生産量 53 t	4,878 t	14 *
生きくらげ類	生産量 12 t	1,709 t	20 *

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
工場数	3 工場	4,115 工場	47
製材用素材の入荷があった工場数	3 工場	4,067 工場	47
国産材のみ	2 工場	3,237 工場	47
国産材と輸入材	1 工場	653 工場	42

出典：「令和2年木材需給報告書」

沖 縄 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は210億円で全国第21位。
- ・水産物の生産状況は、もずく類（養殖）及びくるまえび（養殖）が全国第1位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、漁家レストランの事業体数が全国第1位、年間販売金額が2位。

漁船隻数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
漁船隻数	2,947 隻	132,201 隻	19
動力漁船	2,071 隻	69,920 隻	13

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,733 経営体	79,067 経営体	10
内水面漁業経営体数	4 経営体	4,772 経営体	47

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	3,686 人	151,701 人	14
男	3,580 人	134,186 人	14
女	106 人	17,515 人	25

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	210 億円	13,484 億円	21

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	38,579 t	4,182,983 t	24 *
海面漁業漁獲量	12,928 t	3,213,334 t	31
かじき類	619 t	10,401 t	4 *
まぐろ類	8,377 t	177,029 t	8 *
海面養殖業収穫量	25,651 t	969,649 t	12 *
もずく類	24,223 t	24,305 t	1 *
くるまえび	426 t	1,369 t	1 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	沖 縄 県	全 国	全国順位	
水産物直売所	総額	1,639 百万円	36,489 百万円	6 *
	事業体数	40 事業体	800 事業体	3 *
漁家民宿	総額	94 百万円	6,659 百万円	16 *
	経営体数	30 経営体	900 経営体	8 *
漁家レストラン	総額	942 百万円	1,182 百万円	2 *
	事業体数	40 事業体	420 事業体	1 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

沖縄県の農林水産業の話題等

琉球飼料・瀬底養鶏場・エングループ輸出拡大コンソーシアム

3社で共同して輸出先のニーズに合わせたオリジナル飼料を開発し、令和元年から独自の「沖縄卵」の生産・輸出を開始した。

また、輸出事業者である（株）エングループ沖縄が、海外で展開する飲食店での「卵かけご飯」等のメニュー化によるマーケティング活動を行うなど、生産から販売までの連携した取組により、シンガポール、香港への鶏卵輸出量が大幅に増加した（令和元年40 t→2年162 t）。

今後とも、良質な鶏卵生産やプロモーションにより、輸出の増加に取り組むこととしている。



【洗卵の様子】



【パック詰めの様子】

沖縄の農業を支える地下ダム

水不足に悩む沖縄県では、農業用水を確保するため、国内初となる宮古島を皮切りに「国営かんがい排水事業」や「県営かんがい排水事業」等により、平成29年度までに沖縄本島、伊是名島、伊江島、久米島等で琉球石灰岩の地質特性を利用した8基の農業用地下ダムが整備された。

これらの地域では、地下ダムにより安定的・計画的な水利用が可能となったことで、さとうきびからかぼちゃ、冬瓜、にがうり、マンゴー等収益性の高い作物への転換が進むこととなった。

現在も、宮古島において、「国営かんがい排水事業」によりさらに2基の地下ダムの整備を進めており、地域農業の発展に結びつくことが期待されている。



【園芸用ハウスが広がる
沖縄県八重瀬町の農地】



【宮古島における
地下ダムの施工状況】